



kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

“鉄くろがねのまち” 伝統の地域行事

副校長 本間 秀司

暦の上では、節分、そして立春を経て、もうすぐ「春」なのですが、この時期は寒さが厳しく、1年の中でも最も冷え込みます。早く寒さの峠を越え、春が訪れることを心待ちにしています。

さて、1月は、元旦零時前の鐵神社での初詣をはじめ、いくつかの地域の行事に参加させていただきました。他の地域ではコロナ禍の下、実施を諦めたところもあると聞いていますが、この鉄では、皆様のご尽力により、感染症対策を十分に行い、参加者の皆様もディスタンスを保つことなどにより実施されました。実施に向けた役員の方々の並々ならぬご努力に頭の下がる思いです。

その行事の一つ、1月14日（土）に上鉄と中・下鉄の2ヶ所で行われました『どんど焼き』では、田んぼの真ん中に青竹やわらで高く積み上げられたやぐらが作られていました。お正月に新聞やニュースで見る「どんど焼き」の光景です。「どんど焼き」とは、年末年始に飾っていた門松やしめ縄飾りを持ち寄って燃やします。正月飾り等を燃やすことで、炎と共に年神様を見送る意味があるとも言われています。鉄小の児童の交通安全を1年間見守り続けてくれました職員玄関前のダルマも焼き上げていただきました。そして、書き初めで書いたものを燃やし、炎が高く上がると書の腕が上達するとも言われます。“鉄のまち”のどんど焼きでも書き初めで書いた子どもたちの多くの書が見られました。鉄小の子どもたちは、年々、成長と共に書の腕を上げていると地域の方からお褒めをいただいております。この“鉄のまち”のどんど焼きでは、多くの保護者の皆様と児童にお会いできました。そこでは、3世代に渡る皆様が参加し、子どもたちの成長を見守る姿が見られました。正に、伝統行事を通じ、“鉄のまち”の皆様から温かく見守っていただいていることを実感しました。

もう一つ参加させていただきましたのは、1月22日、23日実施の伝統行事、『地域作品展』です。鉄文化会館で行われました。これは鐵神社の天神祭に合わせ、地域の方々が実施していただきます。地域の皆様の写真・絵などの作品と一緒に、鉄小の全校児童も書き初めを出品させていただきました。児童は、23日、学年ごとに鑑賞しました。地域の方々から励ましやお褒めの言葉をいただくと共に、全員に参加賞のノートをいただきました。地域の作品展に児童全員の作品を飾っていただけることは、“鉄のまち”、そして鉄小ならでのことであり、他では、見たことがありませんでした。地域の皆様から大事にされている子どもたちは本当に幸せだと思います。天神祭は、菅原道真の命日にちなみ、25日前後に行われ、同時に筆供養が行われます。使い古した筆や鉛筆などを日頃の感謝を含め、焼き上げ、筆の上達、学力の向上を願います。ここでも先述のどんど焼きと同様に筆の上達と学問成就が願われ、地域の皆様が、子どもたちを大切に見守ってくださっていることの現れだと実感いたします。

このような地域の伝統行事が、各地で実施可能になる日を心より願っています。

今後とも鉄小の児童を地域・保護者の皆様と学校が一体となり、ともに育んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。